

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

6月号 2021.6.1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marrows.or.jp/chiba/>

第31回 千葉骨髓バンク推進連絡会 定期総会 5月9日(日) 会長 梅田正造

千葉県では千葉市、船橋市を含む12市がコロナのまん延防止等重点措置の対象地域になっていましたが、マスク着用、手の消毒、3密対策等を十分に取った上で、5月9日(日)に船橋市勤労市民センターで第31回定期総会を開催しました。議事は(1)～(6)まで全て承認されました。

◆2021年度 活動方針

21年度はコロナの感染防止対策を取りながら、「普及啓発活動」、「ドナー登録会及び登録説明会の開催」、「各種団体への支援要請」等6本柱の活動をして参ります。今年度も皆様のご支援を宜しくお願い致します。

◆2021年度 運営委員の役割分担

*会長・運営委員長(総括) 梅田正造

*副会長

溝口理文(ドナー助成・休暇制度、コンサート、医療講演会担当)

小泉治彦(ホームページ担当)

遠山将一(会の運営全般補佐)

柴谷みち子(登録会、パネル展、幸せの黄色いレシート担当)

西島隆史(コンサート協賛金担当、説明員拡充担当)

*事務局 北村美和子(事務局長、会計、会報印刷・発送)

*監事 牛島英二

◆「千葉の会の20年度の活動実績と今後の課題」

パワーポイント資料を説明した。(以上総会資料はHPご参照)



2021 全国骨髓バンクボランティアの集い in 東京 5月29日(土)

5月29日(土)、「2021 全国骨髓バンクボランティアの集い in 東京」が開催されました。昨年2020年6月24日に全国骨髓バンク推進連絡協議会は設立30周年を迎え、「30周年記念ボランティアの集い」を計画していましたが、コロナ感染症が全国に広がり緊急事態宣言が発令されたことから「集い」は延期になっていました。会場は「新橋ビジネスフォーラム」で行いましたが、今だにコロナが収まらないためWEBによるハイブリット方式で進行内容を全国に発信しました。千葉の会のWEB参加は、北村夫妻、西島夫妻、萩原、溝口、久永、柴谷、野平の各氏で私(梅田)は、現地参加しました。

「集い」ではパネルディスカッション『継承される命・こころ、真の緩和ケアとは～若い親が病気になるということ』が大谷貴子顧問の司会で、パネリストとして慶應義塾大学病院SKiPチームの近藤咲子さん、伏見幸弘さん、ケアを受けた経験を持つ慶應義塾大学生 井上雅代さんを迎えて行われました。

井上さんが小学校3年生の時、看護師だったお母様が乳がんに罹患されたのですが、その事を井上さんには内緒にされたまま、治療が進み、脱毛症になっても何も説明がありませんでした。ストレスが溜まりお母様に当たったとき、「あんたのせいで病気になった」と言われ、大変ショックを受けたそうです。ある時ご両親がひそひそ話をしているのを聞いて、お母様が乳がんと知ってしまったのですが、その後もお母様がお亡くなりになられた中学3年生の時まで、乳がんのことは伏されたままだったそうです。

SKiPチームは、親ががん等重大な病を罹患された時、子供のケアと親のケアをするチームです。当時このチームがあれば、井上さんにご両親は、心が癒されたのではないかと、心底思いました。

その後、「白血病フリーダイヤル活動への感謝状」の読み上げがあり、「全国骨髓バンク推進連絡協議会設立30周年宣言」を井上さんに読んで頂き、「集い」はお開きになりました。ZOOMのアクセス数は110ありました。

「集い」の内容は、YouTube：<https://youtu.be/bF5vaE17meI> でご覧いただけます。(梅田正造)

「全国骨髓バンク推進連絡協議会 30周年記念宣言」

1990年6月、公的骨髓バンクの設立を願う全国各地の13団体が集い、私たち全国骨髓バンク推進連絡協議会が結成されました。私たちの運動の基本は、「患者救命とドナーの保護を第一義とし、より良い骨髓バンクの実現と移植医療体制の充実を訴え、各地域に根ざした市民運動を推進し、各地運動体の活力と情報を集約できるネットワークの構築」です。

私たちは、これまで骨髓バンクの普及啓発、ドナー募集支援を中心に骨髓バンクの充実発展ための提言要望、さらには各種の患者支援などの市民ボランティア活動を展開してきました。2021年4月現在、日本骨髓バンクのドナー登録者数は53万人(累計登録者数は85万人)、移植件数は2万5千件を超える実績となりました。また、さい帯血バンクでの移植件数も2万件に達しました。これらの成果は、何よりも社会のご理解とご支援、善意の提供ドナーとご家族の方々の献身であり、医療関係者や骨髓バンク、さい帯血バンク関係者のご尽力の賜物と心から感謝いたします。

今や、骨髓バンクとさい帯血バンクは社会に定着し、医療システムとして確立された存在となりました。私たち市民ボランティアがその充実発展の一翼を担ってきたことに、大きな誇りとともに喜びを感じております。しかし昨年来、コロナ禍により骨髓バンク事業は、ドナー登録手続きやコーディネイト説明と手続きが「対面」方式であるため、感染症対策上の弱点となり困難な状況が続いています。私たちは、こうした中でこそ「一人でも多くの患者さんの命を救うこと」を願いつつ、新たな時代に合う骨髓バンクと医療の充実を目指す運動を、全国の仲間とともに力を合わせて行ってまいります。

2021年5月29日 30周年記念ボランティアの集い



登録会報告

イオンモール幕張新都心 4月29日(祝) 説明員 北村美和子、柴谷みち子

登録者14名 説明者2名の結果でした。受付開始からコンスタントに来場者が来られ、午後も途切れることがありませんでした。途中で採血バックが残り少なくなり日赤さんが港センターに取りに行かれました。登録者は午前2名、午後は12名となり、常にバンクテーブルで説明をしているという感じで二人体制の結果と感じました。若い方の登録が多く嬉しく思いました。20代8名の内訳は21歳1名、22歳5名、23歳1名、29歳1名。10代は18、19歳二人共学生さんでした。日赤さんも声掛けして下さり、本当に感謝です。こんなに説明し登録を頂いたのは久しぶりねと話しながら帰宅しました。外は未だ雨でしたが心は晴天でした。(柴谷)



明海大学 4月30日(金) 説明員 志田和子

登録者4名 説明者6名の結果でした。昨日の天気が嘘のような爽やかなお天気でした。献血場所は大学の門を歩いてすぐの広場で学生の通り道で分かりやすく、学生の反応も良かった。登録者は4名でしたが、説明のみの5名は本人は登録をする気持ちになったのですが、家族に相談してからにしたいとチャンスを持ちました。献血も初めての人達でしたので、骨髄バンクの登録まで決めかねた様でした。日赤の責任者の方が声掛けと誘導を積極的にしてくれたので流れもスムーズでした。大学での登録会はコロナウイルス後初めての実施でした。(やっとなら大学再開)



印西市役所 5月21日(金) 説明員 山口智子

登録人数2名 説明者2名の結果でした。雨風の日で特に風が強く会場は室内に変更になりました。窓を開ける前は微臭だったので、普段あまり使われていないのかもしれませんが。広さは何時もと変わらないと思えました。既登録者の中に既に提供している方がお一人いらっしゃいました。説明のみになった20歳の大学生はご家族と相談して次回にという事でした。もう一人の方は献血後おいでになりましたが、服薬中でしたので説明のみになりました。日赤の複数の方が、待ち時間がある時は声掛けをしてくださいました。



登録会報告(会場)	4月	登録者数(人)	説明受講者数(人)	説明員
千葉県庁	2日(金)	3	0	山本栄
千葉県庁	5日(月)	0	0	志田和子 久永幸子
松戸献血ルーム	7日(水)	4	1	柴谷みち子
鶴川市役所	8日(木)	0	0	西島隆史 西島一恵
鶴川市心れあいセンター	8日(木)	1	0	西島隆史 西島一恵
柏献血ルーム	12日(月)	5	1	柴谷みち子
大網白里市保健文化センター	15日(木)	2	0	久永幸子
モノレールちば駅献血ルーム	15日(木)	7	3	北村美和子 柴谷みち子
市川市役所第一庁舎	21日(水)	2	0	西島隆史 西島一恵
成田市役所	23日(金)	5	5	北村美和子
津田沼献血ルーム	23日(金)	5	5	山本栄 柴谷みち子
木更津市役所	27日(火)	5	0	西島隆史 西島一恵
津田沼献血ルーム	27日(火)	5	3	久永幸子 北村美和子
船橋フェイス献血ルーム	28日(水)	3	1	山本栄
イオンモール幕張新都心	29日(木)	14	2	柴谷みち子 北村美和子
明海大学	30日(金)	4	6	志田和子
4月 合計		65	27	

登録会報告(会場)	5月	登録者数(人)	説明受講者数(人)	説明員
柏市役所	7日(金)	6	0	柴谷みち子
市原市役所	7日(金)	2	2	西島隆史 西島一恵
勝浦市役所	11日(火)	1	0	久永幸子
柏献血ルーム	12日(水)	3	2	柴谷みち子
君津市保健福祉センター	13日(木)	0	1	西島隆史 西島一恵
袖ヶ浦市保健センター	14日(金)	3	1	円東克典
津田沼献血ルーム	14日(金)	5	3	柴谷みち子
モノレールちば駅献血ルーム	19日(金)	4	2	北村美和子
館山市役所	20日(木)	3	2	西島隆史 西島一恵
印西市役所	21日(金)	2	2	山口智子
船橋献血ルームフェイス	24日(月)	9	1	山本栄 久永幸子
松戸献血ルーム	26日(水)	5	0	柴谷みち子
津田沼献血ルーム	26日(水)	5	0	北村美和子
習志野市役所	27日(木)	0	0	山本栄
イオンモール幕張新都心	30日(日)	10	1	柴谷みち子 久永幸子
5月 合計		58	17	

ここからのご寄付、ありがとうございます。

宮岸明美 様 5,000円
 佐藤秀哉 様 20,000円
 佐野正枝 様 2,000円
 川井寿江 様 2,000円
 円東克典 様 7,000円

ボランティア・会員募集

ボランティアとして出来ることが色々あります。骨髄バンク=登録だけではありません。何かやってみたくになったら、お気軽に連絡下さい。

TEL/FAX 043-497-5083 事務局 北村まで

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929 からのお知らせ

緊急事態宣言発出の為、白血病フリーダイヤルは当面の間休止いたします。ご利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけすることになり、申し訳ございません。尚、最新状況につきましてはホームページで随時お知らせいたします。(2021年4月26日更新)

(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナーさんが移植に向けての不安に対応します。

(認定特定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

全国骨髓バンク推進連絡協議会の事務職員の退職と新規職員採用

全国骨髓バンク推進連絡協議会の会計業務を担当していた櫻井洋子さんがご都合で辞めることになり、5月31日（月）、ZOOMでお別れの会を開催しました。櫻井さんには正副理事長から感謝の気持ちを込めた花束贈呈を行いました。

後任には会計業務に経験のある鹿子島健一さん（67歳）が採用され、先日就任されました。（梅田正造）



全国骨髓バンク推進連絡協議会 2021年度通常総会、情報交換会

5月30日（日）、全国骨髓バンク推進連絡協議会の2021年度通常総会と加盟団体情報交換会がZoom開催され、千葉の会からは梅田会長と北村が参加しました。通常総会では①2020年度事業報告、②決算報告及び監査報告、③2021年度事業計画案、④予算案、⑤役員を選任の5議案の説明があり、議案はすべて承認されました。2020年度事業報告と2021年度事業計画は、当会梅田会長が全国協議会副理事長として説明されました。私は昨年引き続き議長を務めさせていただきました。

総会後行われた加盟団体情報交換会では、参加18団体の活動報告があり、各団体ともコロナ禍の中、多くのイベントや講演会、交流会が中止となり、登録会も減少している中、オンラインも活用してできることを模索しながら活動している様子をお聞きいたしました。

当会からは普及啓発活動やイベントが中止となり、献血併行登録会を活動の中心として工夫して行っていること、ケア帽子製作プロジェクトで患者支援に取り組んでいる事など報告し、今年度は普及啓発活動を少しでも再開していきたい事等、報告しました。最後に来年こそはどこの会場で集まって開催したい旨、田中理事長よりありました。（北村美和子）

総会の⑤役員を選任後、総会が一時中断され新理事14名による「臨時理事会」が開催され、互選で理事長：田中重勝、副理事長に梅田正造、村上忠雄、若木換、山村詔一郎の各氏が選任されました。（梅田正造）



総会で議長を務める北村 千葉事務局長



総会の様子（参加者50人）

最新医療情報 ～前処置の強度を弱めた移植～

いわゆるミニ移植についての最近の情報を、ガイドブック「白血病と言われたら」全国骨髓バンク推進連絡協議会発行のうち、虎ノ門病院血液内科 山本久史先生の記事から概要を紹介します。

同種造血細胞移植は、前処置として、大量の抗がん剤や全身の放射線照射を行います。これは体内に残存する白血病細胞をせん滅させるためと、患者さんの正常なリンパ球が、移植されたドナー細胞を拒絶しないように、ドナー細胞が確実に生着するために行います。現在、いわゆるフル移植として、標準的な骨髓破壊の前処置が確立されています。

一方、その高い毒性のために、55歳以上の高齢者や臓器障害を有する患者さんは対象外とされていました。しかし、移植のメリットは、前処置のみならず移植後に生じるGVL効果によるものが大きいことが分かってきました。GVL効果は、生着したドナー細胞が免疫的に白血病細胞を攻撃してくれるものです。また、骨髓を完全に破壊しなくても、ある一定の免疫抑制効果を有する前処置であればドナー細胞が生着することが分かってきました。この性質を踏まえ、高齢者や臓器障害を有する患者さんでも耐えられ程度に前処置を軽減（非破壊的）、生着が成立する最小限度にまで弱めて、腫瘍細胞の根絶はGVL効果に期待するのが、ミニ移植の基本的な考え方です。これによって高齢者でも、通常の抗がん剤治療では治りにくい白血病を、克服できる道が開けました。さらに、再発の問題もありRIC（強度減弱前処置）と呼ばれる、純粋なミニ移植とフル移植の中間的な強度の前処置も行われています。

また、臍帯血によるミニ移植が、課題である生着不全がほぼ克服できつつある状況になりました。ドナープールが拡大され、適切な時期に移植が施行できる時代になり、国内において50歳以上に対する移植が全移植のうち50%前後を占めるようになりました。しかし、同種移植である以上、命に関わる合併症である感染症やGVHD（ドナー細胞が生着後に患者さんの体を攻撃する反応）が起こりうる治療法でもあり、年齢、体力、移植により得られる効果、予想される毒性などを十分吟味する必要があります。

また、感染症やGVHDに加え、移植後の再発も克服しなければいけない課題です。前処置を軽減すると、結果的に移植後の再発率が上昇してしまうことが分かってきました。そこで最近では、再発と毒性を同時に克服できるような新しい前処置の開発が行われています。前処置薬のブスルファンの静注薬が開発されたことも貢献しています。また、照射量の調整、他の薬剤など様々な工夫が試みられています。これらは毒性減弱骨髓破壊の前処置と呼ばれ、今後も開発が期待されます。

毒性を軽減した骨髓破壊の前処置は、高齢者のみならず若年者にも期待されます。若年者でもその毒性の懸念、晩期障害などの問題があります。しかし再発増加の懸念もあり若年者へのミニ移植実施は慎重である必要がありますが、毒性を軽減した骨髓破壊の前処置をベースに、至適方法の開発を進めることで、従来のフル移植を超える前処置登場の日も、そう遠くないかもしれません。

以上が要点の紹介ですが、至適な前処置法が早く確立されると良いですね。（溝口理文）

会費納入のお願い

千葉骨髓バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。

皆様のご支援とご協力をお願い致します。

郵便局以外の銀行ATMやインターネットバンキングでお手続きの場合は、次のとおり指定してください。

ゆうちょ銀行店名 〇一九（ゼロイチキュウ）、口座番号0547168

年会費 3,000円（学生1,000円）

振替口座名 千葉骨髓バンク推進連絡会

郵便振込口座番号 00160-6-547168

日本骨髄バンクと千葉県登録者数最新情報 (2021年4月末現在)

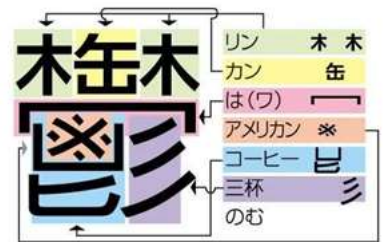
	全国 (累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	532,030	+1,704	+3,233	18,237	+76	+231
累計患者登録者数	61,665	+468	+2,510	2,373	+21	+104
累計移植例数	25,434	+217	+1,111	807	+5	+34

ちょっといい漢字の話 (第6話) ~漢字で書けますか~

今年西日本では記録的に早い梅雨入りということで、鬱陶しい日々が続いています。例年なら薔薇を鑑賞する時期ですが、コロナ禍で、なんとなくお出かけしづらい状況です。鬱とか薔薇のような難しい字も、手書きなら仮名で書いたり、それっぽい略字で誤魔化したりしていましたが、パソコンで簡単に変換できるようになりました。読めるけど書けない字があるのは当然で、気にしなくても構いません。とはいえ、やはり難しい漢字が書けるとカッコいい気がします。「薔薇(ばら)」は「しょうび(そうび)」と読みます。覚え方に「佐渡(サ=草冠、土)の人々口々に、サー微笑みに中一本」があります。微の字に一があるのがポイントです。「鬱」の字は「リンカーン(アメリカン)コーヒーを三杯のむ」で覚えます。

手書きでは異体字の「鬱」や「林四郎」を縦書きで詰めて書く等もしていたそうです。他にも「麒麟」は「其(そ)の鹿も隣の鹿も麒麟」。「檸檬(レモン)」は漢語では「ネイモウ」で、「丁寧な蒙古人、気(木)が付きや檸檬」とかいいです。因みにあの梶井基次郎の「檸檬」の直筆原稿で「檬+木孟(木辺に孟)」と書いているのが確認できます。かの文豪でもと思えば少々の誤字は気になりませんね。私も鬱とかが書けるとなんとなく晴れやかな気分になります。最近はネットでも色々な覚え方が紹介されています。皆さんも自分にあった覚え方を検索してみてください(漢字教育士/萩原匡祐)

薔薇



骨髄移植から5年 寛解を迎えて(後編)

移植当日は、ドナーが遠方の方だったので骨髄液採取後、当日中に私の体内に投与できるか不安でしたが、夜到着し骨髄液投与は深夜になりました。骨髄移植は、手術と言っても、ただ骨髄液を血管から投与するだけです。それよりも移植後の体調が正常に戻るまでが、長期に渡り非常に辛いものでした。移植後白血球の数値が上下しながらも2週間で7千を超えた時、医師から着床したと告げられました。自らが血液を造りだす工場ができ(心の中で生きていける、ドナーさん有難う万歳と叫んだ)。

そしてここから健常者に戻るための闘いが始まったのです。入院中は、口内炎・味覚欠落・発熱・下痢・嘔吐・頭痛に悩まされ、食事も喉を通らず流動食などを少しずつ取っていました。退院後はGVHDの発症による口内炎の悪化・発疹・中耳炎・ドライアイ・皮膚が薄くなり擦ると血が出る・爪のササクレ・免疫力低下による帯状疱疹の発症等がありました。

そのような状況の中で、免疫抑制剤を含め多くの薬を服用しました。体調により薬が多くなると大丈夫だろうかと不安になったこともありましたが、免疫力が低いので、罹患しないように手洗い・うがい・マスクの励行をしていました。3年程続き徐々に回復し、5年たった今血液の検査数値も規定値内で推移しており、ようやく健常者に近づいてきました。振り返って5年間の闘病生活は長かったです。時々心が折れそうになったこともありましたが、その間家族・親戚・仲間によるサポート、アメバブログによる療養者との交流、また、病院関係者の方々のお陰で寛解を迎えることができました。これからは微力ではありますが骨髄バンクの活動に、携わっていきたくて思っています。(伊庭辰雄)

ドナー登録会

- ・松戸献血ルーム 6月 8日 (火)
- ・酒々井町保健センター 6月14日 (月)
- ・白井市役所 6月15日 (火)
- ・津田沼献血ルーム 6月15日 (火)
- ・君津市中央病院 6月16日 (水)
- ・柏献血ルーム 6月16日 (水)
- ・イオンタウン木更津朝日 6月19日 (土)
- ・モノレールちば駅献血ルーム 6月21日 (月)
- ・津田沼献血ルーム 6月23日 (水)
- ・富里市役所 6月25日 (金)
- ・千葉市役所 6月25日 (金)
- ・野田市役所 6月28日 (月)

定例会

日時 21年6月6日(日) 14時から ZOOM 会議



<編集後記>

当会の定期総会を5月に久しぶりに対面で行うことができました。昨年度はコロナの影響で登録会は激減し、普及啓発活動・イベント等のさまざまな活動が中止となりました。全国各団体との情報交換会で、各地の活動も同じように登録会が減少し、多くの事業は中止となっている事をお聞きました。

今年度もまだまだ制限がある中ですが、出来る事から少しでも普及啓発活動を再開し、多くの方に理解を深めて頂けるよう、骨髄バンクの普及に努めていきたいと思っています。(北村美和子)